

横浜市アマチュア無線非常通信協会の 2024年度支部活動報告（2025年5月25日総会用）

実施した通信訓練の概要						(A)		(B)		(C)		(D)		その他活動・報告事項など
支部名		(A)	(B)	(C)	(D)	地域防災拠点数（A）		(A)のうち通信訓練実施の拠点数		のべ訓練回数		のべ動員人数（区役所局含む）		
1	鶴見	31	9	3	16	●2024/4/20：支部内通信訓練実施：参加11局（支部員7、区内非支部員2、市内局1、都内局1） 鶴見レピーター-JR1WU（439.560）およびレピーターにて告知後438.440にて実施、港北区支部局の一部応援あり、終了後意見交換にてガイドンスコールの有効性をご教示戴く ・参加各局のご協力で効率の良い交信訓練を行った ・レピーターでは区外（神奈川区、南区、港南区、港北区、東京都港区）からの参加もあり、有効性が確認できた ・モービル移動局の参加もあり、臨場感のある訓練となった ・次回以降は被災時を想定し、電池＋ハンディ機による参加、あるいは想定される避難場所近傍からの参加を奨励することが提案された ●2024/9/7：港北支部局防災フェア移動運用との交信実施 支部員3名 ●2024/10/29：区役所総務課防災担当様と打合せ：支部活動説明、支部員名簿手渡し、今後の防災イベント等での協力体制 11/8伝搬確認事前打ち合わせ 設備および空中線状況確認良好 ●2024/11/08：伝搬確認実施								その他活動：11/3第7回鶴見川コンテスト実施：ユニークコール数242局（前年▽62）、総QSO数10,180 伝搬確認機会の提供
2	神奈川	25	1	2	4	・9/7 横浜市立神奈川小学校 防災訓練に1名（松井氏）参加。無線機及び設備の目視、動作確認を行い問題なし。通信訓練は実施せず。 ・11/8 神奈川区役所の無線設備の状況（VSWR測定及びアンテナ外観目視）と各無線機の動作確認を実施した結果、良好であった。 ・11/8 神奈川区役所と横浜市役所間の通信実験を実施した。結果は145MHz、430MHz、1295MHzとも良好であった。（高崎） ・11/30 子安小学校（新子安駅近郊）防災訓練に2名（木村氏、中沢氏）が参加し、通信訓練を実施。無線機の動作確認を実施した。 この訓練には近郊のJ Q 1 Y Z Y日亜化学工業横浜研究所より参加がありました。 ・3/8 NPO法人かながわ311ネットワーク主催の「防災教育フォーラム2025」に2名参加（松井氏、高崎） ・各拠点における無線機用バッテリー交換作業実施のため、区役所では計画的に対応している。（拠点に予算を割り振り、支払いする） ・非通協への依頼が少ない理由は、拠点防災訓練は、拠点単位ではなく各自治会単位で対応しているためとのこと。 ・各自治会では特小トランシーバによる通信訓練を行っている。								
3	西	12	3	4	8	西区支部は総員32名。毎週日曜日21時より431.76MHzにてローコール実施。その際に西区レピーター439.62MHzと1292.42MHzでの交信の練習もしている。2024年5月26日協定会総会。5月31日西区役所での西区災害対策会議に出席。6月23日西区支部総会。参加10名。8月3日、4日戸部公園にてフィールドデューコンテストに参加。参加11名。交信100局あり。8月10日第1回支部長会出席。9月1日軽井沢中学校、一本松小学校、8日岡野中学校、老松中学校での防災訓練に参加。各拠点と西区役所の間の連絡を行う。 11月8日西区役所との「災害時におけるアマチュア無線非常通信協力に関する協定」の継続調査用紙提出。11月8日支部通信テスト（電波伝搬調査）参加。11月23日第2回支部長会参加。2025年2月4日新年会実施。参加10名。								【支部総会関係】 ・6月23日：本牧ベース（マリンFMスタジオ）にて11局（委任9局）の参加で開催。支部役員の変更なし。支部員総数31名（3月末・1増1減） 【月例通信訓練】 ・毎月第一日曜日20：30より145.20MHzにて開催、12回延べ193局が参加。訓練開始前の30分間はラグチュータイムとし支部員相互の情報交換を行った ・関東近隣県で震度4程度の地震発生時には直後に臨時の通信訓練を実施し支部員相互の安否確認、年間5回延べ19局が参加 【本部主催行事】 ・9月29日：横浜総合防災訓練（緑区・長坂谷公園）には支部員が自宅等より430MHzでQSO参加（2局） ・9月7日～8日：横浜防災フェア2024（赤レンガ倉庫）へは表敬訪問（4局） ・11月8日：横浜市役所 ～ 各区役所間の「通信テスト」のため中区役所局を運用（3局）また、自宅等より各区支部の入感状況をワッチ（2局） 【地域防災訓練・情報受伝達訓練】 ・地域防災拠点訓練は行政と連携のうえ支部員延べ18局が下記の通り参加。小学生～特小トランシーバーの体験運用を実施、発災時の情報受伝達について説明 ・11月9日：本牧南小（5局） ・11月9日：本牧小（5局） ・11月30日：間門小（8局） ・1月17日：中区役所からの協力要請に基づき福祉避難所10箇所とのデジ簡による「情報受伝達訓練」に参加。現地巡回指導（通信状況把握とアンテナ設置）を実施（7局） ・1月15日：横浜市役所屋上より「横浜市臨時災害放送」実験局(77.10MHz)の試験放送が実施され、支部員相互が受信感度等の情報を共有した 【広報・地域関連】 ・8月11・12日（両日）：郷土資料館「八聖殿」開設50周年記念事業に本年も参画。八聖殿の紹介と支部員の移动通信の訓練を兼ねて「JR1YWG/1」を公開運用 ・期間中延べ14局が参加し全国の128局と交信、記念QSLカードを発行。また、小学生男女3名～HFでの体験運用を実施した ・1月12日：初心者交信教室（JARD主催・マリンハイツ会場）の協力として中区内各所よりビギナー局とのコンタクト対応した（6局）
4	中	15	3	25	237	通年 毎月第一日曜日20:00より438.32MHzにてオンエアーミーティングを実施、毎回10名程度の参加延べ120名の参加。 5月 非常通信協定会総会に出席 8月 支部長会及び合同意見交換会に出席 9月 赤レンガでの防災フェア（港北区）に応援参加 横浜市総合防災訓練（緑区）に無線通信にて、応援参加 11月 市役所⇄区役所間通信テストに参加 第2回支部長会に参加 2月 第3回支部長会に参加 3月 JR1YWH+JGIZWE合同総会開催18名出席（蒔田「花月」（JF1JPP）にて） サイレント キー JA1WFC 鈴木 OT JO1EKF 安池 OM ☆ 新規加盟者 4名 他、他の防災組織で本会の存在を知り加入2名 非常通信協会のホームページで本会に興味を持って入会2名 ★ 地域防災拠点への参加依頼について 毎年参加協力の依頼のあった地域防災拠点（市立南ヶ丘中学校・市立六ッ川中学校・市立永田中学校）からの協力依頼が昨年度は、無かった。 依頼の決定については、拠点運営委員での判断と考えるが各防災拠点⇄南区役所間の電波伝播状況の確認等蓄積データが取れなかった。 ★ 通信テストについて 昨年度の不具合（八重洲のスタンドマイクの作動不良+ID-1のマイクのカルコード外皮不良）について、そのままの状態で臨んだ。 一つ通信途絶が起きてもおかしくない状況では、如何なものか。 ★ 南区支部の支部員の高齢化 当支部については、他支部でも問題視されている高齢化が進んでいる。→若い世代（中・高生）の育成や啓蒙活動を本部・支部両輪で進める必要が有ると考える。 ★ 防災フェアや総合防災訓練以外に皆が集まる機会があれば良い。→会員相互の交流促進と団結力の向上。 ☆ 当南区支部では、構成員の内5名がJARL神奈川県支部の役員（1名は、神奈川県支部長）と言う特異な構成となっており、日本アマチュア無線連盟（特に神奈川県支部）との連携が取りやすい。→上記会員交流の機会として、宮ヶ瀬フィールドミーティングや神奈川県支部ハムの集い等の機会を利用するのは、どうか。？（協力会のブースを出すのも良いと考える）								
5	南	25	0	0	0	① 地域防災拠点防災訓練：9月～12月実施 ・港南支部の訓練参加：21拠点 地域防災拠点と区役所本部局の情報伝達訓練をおこないました。 ・他の地域防災拠点（10拠点）は、地域防災拠点運営委員会と町内会/自治会役員で小規模訓練の実施、防災倉庫の備蓄品確認と整理などおこなった拠点もありました。 ② アマチュア無線体験通信：2拠点実施 約30名参加 ・アマチュア無線体験制度（体験運用）を活用して、防災訓練参加者の希望者と区役所本部局が交信して名前の交換をおこないました。 ・幅広い世代の人にアマチュア無線に興味を持っていただき、港南支部に新規入会促進活動をおこないました。 ③ デジタル簡易無線機の講習会：2拠点実施 ・無線機の操作方法、注意点、電波法の遵守などについて、実際に無線機を操作しながらの講習会をおこないました。 ④ 地域防災拠点防災訓練の参加計画表、活動紹介、情報などの掲載：9月より ・港南区民活動支援センターが運営の「ひまわりタネット」に掲載して、PC、スマホでいつでも確認ができます。 ⑤ 地域防災拠点運営委員会に新規入会促進の協力を依頼 ・アマチュア無線をおこなっている人、以前おこなっていた人がおりましたら紹介をお願いします。								6月 会員証全面移行 7月 臨時理事会 8月 定期総会・全会一致で全ての議事可決。 9月 川島小学校地域防災訓練参加（区役所をキー局をするロールコールを実施） 10月 常盤台小学校・権太坂小学校地域拠点訓練参加兼区役所をキー局にしたロールコール実施 11月 初音ヶ丘小学校・岩崎小学校地域拠点訓練参加兼ロールコール 12月 瀬戸ヶ谷小学校地域防災訓練参加兼ロールコール 12月 広報とはまに当会会員募集記事を掲載・10件以上の問い合わせを受け1名が加入
6	港南	31	21	21	97	1. 規模・概要 ① 統制局：JR1YWK（旭区役所クラブ） JQIZJI（第二旭区役所クラブ） ② 防災拠点無線局： 37局/37拠点 開局済み ③ 連携社団局： JQIZJB（旭区SVRクラブ）、 JQIYSR（あさひ無線愛好会） ④ 支部会員： 総数125名（入会9名、退会3名） 2025年1月18日時点 2. 防災訓練（拠点・連合自治会）とYWK活動 本年度は、昨年より多くの拠点で訓練及び機材点検を実施することができました。 ① 防災訓練及び無線機材点検実施： 22日間、延べ35会場、訓練参加支部会員数、延べ116名 35拠点局無線機点検実施 ② 区役所局運用：JR1YWK 庁舎： 1日、JQIZJI 移動：21日 ③ 支部役員会：8月25日、10月26日、1月18日、3月15日 ④ 支部定期総会：5月11日（区役所大会議場にて開催） ⑤ 本部総会：5月26日（支部長が出席し、2023年度事業報告、会計報告、2024年度事業計画（案）、予算（案）に旭区支部として賛成した） ⑥ 本部支部長会： 11月23日、2月8日に支部長が出席した。（8月10日は都合により欠席した） ⑦ 市役所～区役所間通信テスト：11月8日 ⑧ ロールコール：毎月第2土曜日 438.08MHz 午前6：30～ ⑨ YWKホームページの運用								
7	保土ヶ谷	27	6	6	12									
8	旭	37	35	35	116									

横浜市アマチュア無線非常通信協会の 2024年度支部活動報告（2025年5月25日総会用）

支部名		実施した通信訓練の概要				(A)	(B)	(C)	(D)	その他活動・報告事項など
		(A)	(B)	(C)	(D)					
						地域防災拠点数 (A)	(A) のうち通信訓練実施の拠点数	のべ訓練回数	のべ動員人数 (区役所局含む)	
9	磯子	21	13	27	194					<ul style="list-style-type: none">・「地域防災拠点」訓練のほか、「連合地域の防災訓練」、横浜で震度3以上の地震があった時、昼夜を問わず地震発生から30分間に行う「出勤態勢訓練」、「訓練時の自宅周辺被害報告訓練」、診療所・薬局の「幟旗掲出確認報告訓練」等を行っている。その他、「各種イベント」等への参加を合わせれば、121回、延べ931人が参加した。・「地域防災拠点訓練」は、区役所局を合わせて、13回 73人が参加した。（今年度は拠点運営委員のみで行うとして、ボランティアを要請しない拠点多かった）・「出勤態勢訓練」は2005年7月から行っており、地震発生から30分間に収集した被害情報を区役所へ報告しており、令和6年度は対象地震が5回あり47人から報告があった。・「のぼり旗掲出確認報告訓練」は始めて6年目になり、参加者は21人だったが、磯子区内全域の200を超える診療所と薬局に掲出される幟旗を確認して区役所の福祉保健課に報告するものである。その他「連合地域防災訓練」21人。「自宅周辺被害報告」7回45人が参加。・「磯子まつり」に15人「防災スマイリングフェア」に14人が参加し、ブースを開設し非常通信協会のPRをしながらしんだ。また「FDコンテスト」に9人が参加した。・毎月第1土曜日の20～21時にロールコールを実施し、情報の共有と会員の親交を深めており、令和6年度は12回で延べ174人が参加した。・趣味のアマチュア無線クラブ「JARL横浜磯子クラブ」と共催のミーティングも隔月に実施し、5回78人が参加。その他に月2回の無線技術を学ぶ「木曜勉強会」を16回58人。毎週実施の金曜定例会を50回325人。そして、防災談義会を初めて開催し6人。横浜市民防災センターで行われた「防災減災体験フェア」にブース参加し6人が参加した。・磯子区支部は、高齢化し、現在の会員数は92人と減少している。そのため「災害時のすべての行動は情報から始まる」と情報伝達の重要性を説き、一般住民の方々に無線交信を体験していただき、住民自ら情報伝達を行う事の推奨指導と、非常通信協会磯子起始部会員増への取組を行っている。
10	金沢	26	13	14	29					<p>1)地震発生時の状況報告</p> <p>・市内で震度3以上の地震を観測された場合に被害状況を無線で収集し、結果を区役所へ報告 本年度3回8/9(12局)、8/28(1局)、10/14(12局)のべ25局(～10)</p> <p>2)地域防災拠点運営委員会・防災訓練に参加</p> <p>①地域防災拠点運営委員会参加実績 ①内は前年度比 5拠点(～3)不参加21拠点 延べ参加回数11回(～1)延べ参加会員数14人(～8)</p> <p>②地域防災拠点防災訓練参加実績 13拠点(～2)不参加13拠点 延べ参加回数14回(±0)延べ参加会員数15人(～2)</p> <p>3) 本部主催の市役所、区役所間の電波伝搬試験 結果：144MHz=RS57/55(相手局/自局)、430MHz=RS56/55、1200MHz=NM</p> <p>4)定例オンエアミーティング・災害想定訓練</p> <p>①定例オンエアミーティング 毎月第1土曜 21:00～実施</p> <p>②災害想定訓練 6月・9月・12月・3月の定例オンエアミーティング開始前に実施</p> <p>5)イベント出展 金沢まつりいきいきフェスタ 10月21日(土)海の公園にて成果：モールス打鍵体験50名程度、ブースにて案内10名程度、ハンディ機通信体験1名</p> <p>6)SLACK導入チャットツール 役員会やメーリングリストが受け入れないメンバーへの連絡に役立っている。</p> <p>7)移動運用体験会</p> <p>①5/2 能見台 谷津関ヶ谷不動尊近くのハイキングコースのわき 参加者4人</p> <p>②9/15 富岡総合公園 南展望台 参加者4人</p> <p>③10/13 富岡総合公園 南展望台 参加者5人</p> <p>④11/10 野島公園の展望台 参加者5人</p> <p>⑤12/15 能見堂公園 現地集合 参加者5人</p> <p>⑥1/26 金沢山称名寺の裏山 参加者5人</p> <p>⑦2/16 金沢ヘリポートの裏の緑地 参加者5人</p> <p>⑧3/30 能見堂公園 参加者4人</p> <p>8)区役所無線室の整備 物品棚を設置していただいた。</p> <p>9)その他</p> <ul style="list-style-type: none">・8月14日、3月17日 区役所連絡会を2回実施・5月24日 地域防災拠点運営委員会 連絡協議会に参加・11月24日 バーベキューを開催・1月26日 新年会を開催
11	港北	29	28	28	158					<p>【4月】 支部通常総会(港北公会堂)の開催</p> <p>R5年度事業報告、R6年度事業計画の承認、新入会員紹介、支部活動に関する意見交換等</p> <p>【6、7月】 区内拠点防災訓練(2か所)</p> <p>【9月】 2024横浜防災フェア(赤レンガパーク)でのPR活動</p> <p>担当支部として横浜市民非通協活動全般の紹介、無線通信のデモ(区内各支部協力を得て約140局と交信)、各防災拠点に配備された機器類の展示、特小無線機による通信体験、非通協会員の募集等</p> <p>区内拠点防災訓練(5か所)</p> <p>【10月】 区内拠点防災訓練(2か所)</p> <p>【11月】 区内拠点防災訓練(16か所)</p> <p>地元イベント「ふるさと港北ふれあいまつり」(横浜アリーナ)でのPR活動</p> <p>支部の活動紹介、無線通信のデモ(約70局と交信)、特小による通信体験、モールス体験、支部会員の募集等</p> <p>【12月】 区内拠点防災訓練(3か所)</p> <p>区内医療救護隊訓練における情報伝達部分への協力</p> <p>【支部の現状】 メンバー数：76名(2024年度内の増減 退会5名 入会2名)</p> <p>活動対象の防災拠点数：29</p>
12	緑	21	20	20	73					<p>【総会関連】 ・4月20日支部総会</p> <p>【行政との調整】</p> <ul style="list-style-type: none">・4月 緑区防災ネットワーク運営委員会に支部長が参加・9月～2月 地域防災拠点訓練時の通信訓練日程・要員調整・2025年4月9日 令和6年度活動状況および会員状況を報告 <p>【訓練活動等】</p> <ul style="list-style-type: none">・430MHz帯で定例チェックイン交信を実施(月2回 計24回)・地域防災拠点訓練 9/7、9/14、9/28、10/5、10/6、11/3、11/4、11/10、11/16、11/17、12/1、12/7、1/19、2/2、2/9 20拠点で実施・9月29日 横浜市総合防災訓練(緑区で開催)・11月8日 市役所～区役所間 通信テスト参加 <p>【広報活動】</p> <ul style="list-style-type: none">・5月 緑区地域防災拠点運営委員会連絡協議会へ当会紹介資料提出・10月20日 緑区民まつりに参加 <p>【研修活動】</p> <ul style="list-style-type: none">・3月15日 緑区防災講演会に会員参加
13	青葉	41	34	50	341					<p>2025年3月31日現在の会員数:90名 新規12名だが転居等6名で前年比+6名(24年84人←23年82名←22年74名←21年67名←20年62名)</p> <p>・地域防災拠点訓練は、41拠点中34拠点50回の訓練を実施。参加局のべ 341局(23年度280局22年度377局、21年度146局、20年度128局)</p> <ul style="list-style-type: none">・ブロック再編2目になり41拠点を4ブロック、区役所に駆けつける区役所機動班を設置してブロック運営を開始。順調に運営中・OAM(毎週土曜日夜21・21・30)52回実施、延べ1537局(23年度1602局、22年度1581局、21年度1307局、20年度846局)参加。平均参加局数29.6局(23年度30.2局、22年度30.4局、21年度25.1局)。年間1度以上参加した局の比率66% 58局(23年度67% 58局、22年度71% 51局、21年度63% 46局) <p>・地震発生時に青葉区基幹周波数で安否確認・周辺情報収集を実施。(発生)実施数12回(23年度18回、22年度32回、21年度33回、20年度20回)の対応実施で延べ参加数88局(23年度125局、22年度486局、21年度251局、20年度202局)。</p> <p>・横浜青葉が「JQ1VYN:四師会:医師会、歯科医師会、薬剤師会、柔道整復師会)と毎月の災害時医療連絡会、毎週合同OAM実施。</p> <ul style="list-style-type: none">・支部定例会(Zoomとリアル)のハイブリッド)を5回実施延べ115局参加。・青葉区地域防災拠点委員会会議(6月)に協会活動方向資料添付PPTによって、41の地域防災拠点長に活動説明した・新規入会12名(23年度7人、22年度13人) 24年度は地域防災拠点活動が大きく効いた。30周年記念局体験運用や拠点委員の入会が続いた。継続して、青葉区支部オリジナル支部員募集ポスターを。区役所、地区センター、区内全郵便局、自治会掲示板に掲載。・青葉区災害時医療検討部会に主要メンバーとして医師会、歯科医師会、薬剤師会などと共に継続参加。毎月開催。MCA無線活用訓練を主催メンバとして運営。2006年度スタートした12定点診療拠点と拠点病院等を含む訓練実施・昭和大学藤が丘病院訓練、青葉区民まつり、防災フェスティバルなど区内の防災関連プログラムに参加し、区内での存在感・ポジションの確立を図った・区制30周年記念局8J1AOBA開局。地域拠点訓練でも体験局運用を実施し、防災からアマチュア無線をはじめた支部員の防災以外の活動への理解を広めるとともに、新規支部員勧誘に大きな力となった(12人)。12月31日をもって無事閉局した。
14	都筑	27	25	25	124					<ul style="list-style-type: none">・27拠点のうち25拠点(昨年より5か所多い)で通信訓練(情報受伝達訓練)を実施した。・4/29 2024年度総会開催 25名参加。新人紹介などする。 <p>区役所の防災関係会議に出席 5/10災害対策連絡協議会 5/27地域防災拠点運営委員会</p> <ul style="list-style-type: none">・11/3区民祭りに出店。児童生徒の無線体験運用、CW打鍵体験(今年初めて)を実施。合わせて58名の体験者があった。それにラジオの制作を実施した。・会員募集チラシを区役所及び区社協に配架した。・毎月2回、ロールコールを実施した。430MHzFMのほか、SSTV受信訓練、1200MHzFMでも交信した。・データ共有ツールとして「キントーン」「LINE」を積極的に活用した。・地震発生時の初動訓練を随時行った。
15	戸塚	35	17	30	214					<p>【無線通信訓練】</p> <ul style="list-style-type: none">・全35地域防災拠点の内17の拠点訓練にて無線通信訓練を要請され実施した。参加者総数は延べ78名。拠点数は昨年+2であった。・区役所局の設備及び各拠点配備の設備について、欠品は無し。いくつか修理の必要な物品があるが、今後対処していく予定。・区役所都合で入所できなかった回が2回あり、区役所近辺で支部員の個人コールと設備で無線通信訓練をおこなった。特段大きな設備を使用しなくても通信結果は良好であった。・支部員局の設備確認と発災時の初動通信の訓練を目的として行っているロールコールは、1回/月のペースで継続的に実施している。本年度は計12回の実施で参加者総数は延べ134名。・2024/08/30の横浜市の土砂災害警戒レベル4情報(避難指示)を契機として、発災時初動通信訓練を実施。参加者数2名。 <p>【その他活動】</p> <ul style="list-style-type: none">・発災時の初動として戸塚区役所内シャックに入るための手順が決まっていなかったため、支部内で検討した。今後区役所に要望として提出する予定。・戸塚駅前で開催されたラビス商店会盆踊大会にてクラブブースを設置、公開運用・交信体験運用とともに、支部員募集のチラシを配った。延べ10名参加。・支部員募集チラシを戸塚区内3カ所のスーパー・コンビニに掲示中。・無線通信訓練は拠点全体のスケジュールに組み込まれているため、待機時間がある。その時間を用いて拠点に避難している小学生を対象に体験交信を3拠点で実施した。・区役所後援のつかわお結び広場あらため「つかわお結びプロジェクト」にて支部員募集チラシを配布及び特設webページにて掲示した。支部員1名に対応。・市役所～区役所間電波伝搬調査に参加。支部員2名対応。・高齢によりアマチュア無線が続けられないという理由で2名が退会した。しかし3名の入会があったため、プラス1名増となった。・毎月第2第4日曜日午前10時より438.48付近で「SSTV&デジタル通信ミーティング」をおこなっており、電信電話以外の通信実験を継続的に実施している。メインはFMによるSSTV、SSBによるRTTYとPSK31(日本語)、D-STARシンプレックスモードによる画像交換であるが、FLdigiやソフトTNCによるパケット通信等もおこなっている。このミーティングは誰でも参加可としているので、興味があれば他支部からの参加も歓迎する。

横浜市アマチュア無線非常通信協力会 2024年度支部活動報告（2025年5月25日総会用）

支部名		実施した通信訓練の概要				(A)	(B)	(C)	(D)	その他活動・報告事項など
		(A)	(B)	(C)	(D)	地域防災拠点数 (A)	(A)のうち通信訓練実施の拠点数	のべ訓練回数	のべ動員人数 (区役所局含む)	
16	栄	20	8	21	142	<ul style="list-style-type: none">・市内最大震度3以上の地震発生時に出勤態勢訓練を実施 1回につき30分程度、年度内6回、延べ参加人数42・通信訓練、無線設備点検、通信パス確認を兼ねた月例オンエアーミーティングを12回実施 延べ参加人数81・5月：非常通信協力会本部総会へ参加 参加人数3・6月：栄区災害対策連絡協議会に参加 参加人数1・7月：支部勉強会 テーマは「能登半島地震被災地への派遣支援業務を体験して(区役所防災担当)」 「電波法関連規則改正の概要(JK1FIH)」 参加人数15・9月：通信訓練を兼ねた栄区内通信テストを実施 区役所局～幹線道路の交通要所や病院・交番・消防署・鉄道駅等発災時重要拠点(8地域防災拠点・7福祉避難所を含む)合計38地点との間の430MHz通信パスを確認 移動局はすべてハンディ+付属ホイップアンテナで対応、結果は全地点とも良好であった 参加人数16・9月：出力電圧が変動する不具合を起こしていたIC-911用電源ユニットDM-320MV(アルインコ社製、トランス式)の更新 横浜市からの新規貸与品はDM-330MV(同社製・スイッチング式)・11月：市役所局/区役所局間通信テストに参加 144MHz帯のノイズフロアがS3レベルと高い、430/1200MHz帯はS1レベル以下で問題なし 参加人数1・11月：区役所局無線設備点検を実施 144/430/1200MHzの3バンドにおいて無線機・アンテナとも良好に稼働することを確認・12月：入会者発生により社団局の無線従事者選任届を総通に提出・1月：栄区役所地区災害対策本部訓練に参加 参加人数2・3月：支部年度総会を開催 参加人数23/26(議決権委任を含む) 役員改選 支部長JK1FIH→JJ1MIW 代議員 JJ1XCG・JJ1MIW→JJ1QYY・JK1FIH・3月、12月、1月：発災時支部対応方針を改訂(上記栄区内通信テストの結果を反映、入退会者発生により会員QTHロケーションマップを改訂)・8月、11月、2月：本部主催支部長会へ参加 参加人数各1・栄区支部会員の名簿・QTHロケーションマップを随時更新し会員及び区役所へ配布・広報活動として支部HPを継続的に運用 累積アクセス数29,300超(昨年度+2,300)・年度内新入会員数1、退会者数0、現支部会員総数26				
18	瀬谷	15				<ul style="list-style-type: none">・6月14日 瀬谷区防災対策連絡協議会に出席。				

この報告に関する問い合わせ先：支部長会担当・陸川 均 メールアドレス：Hitoshi.Rikukawa@gmail.com